

働き方、働く人、いろいろ。現場の声を聞いてみました。

上谷 耕史さん(37歳)



仕事も家庭も大切 働き盛りの働き方

競艇選手になりたかったんです。5回挑戦したけどだめで、そんなときちょうど田原に福祉専門学校があると聞き、興味を持ったのがきっかけです。卒業後は、「蔵王の杜」に就職し、今年で13年目を迎えます。

障害者の生活を支える仕事は、生きる活力を支えること。障害があっても前向きに生きる人々から、逆に力をもらっています。

早番や夜勤があり、休みは不規則ですが、勤務希望が出せるので、家族の予定に合わせて休みを申請します。平日休みは、子どもの習い事や学童の送り迎えなどができるので、普段の子どもの生活が分かっていいですね。

福祉の仕事とは、支援を必要としている方を手助けする仕事。自分では見えないところが見えたり、気づきがあったりします。死ぬまで人とかがわって生きていくのが人間。この仕事のやりがい=生きがいです。ぜひ関心を持ってもらいたいです。

【勤め先】障害者支援施設蔵王の杜
【資格】介護福祉士、社会福祉士、知的障害福祉専門員
【仕事内容】障害者の介護全般

仕事と子育てを両立できる仕事

子どもが好きで、5年前に友人に誘われ、学校介助員になりました。仕事の幅が広がると思い、平成26年に田原福祉専門学校で初任者研修を受講し、修了しました。研修は大変でしたが、家族の協力もあり、最後まで受講することができました。いろいろな年齢の友だちができて楽しかったです。

仕事は障害のある子どもの学校生活を介助することです。子どもから元気もらえます。勤務体制は、週3日で午前8時～午後3時。自分の子どもが病気のときなど休みは取りやす

く、その代わり急に仕事へ出ることもあります。子育て中の人が多いので、持ちつ持たれつの関係ですね。

福祉の仕事は、高齢者の介護だけでなく、学校介助員など子どもにかかわる仕事もあります。自分の生活に合わせて勤務時間が1時間から設定できるので、子育て中にはとても良いと思います。

【勤め先】社会福祉協議会
【資格】介護職員初任者研修修了
【仕事内容】学校介助員

久瀬 好美さん(48歳)



福井 久一さん(67歳)



退職後のセカンドキャリア

58歳で早期退職をし、職業安定所で前職関連の仕事を探しましたが、なかなか見つかりませんでした。職業安定所の方に、「ヘルパー2級」の資格取得を勧められたのがきっかけです。そして、今の職場を紹介され福祉の仕事に就きました。3年間の実務経験を経て、4年目に介護福祉士の資格を取得しました。

今年で丸8年になるのですが、利用者の方の笑顔を見たときやお礼の言葉をもらったときにやっていてよかったと思います。

体力では若い方に負けますが、高齢者の方と年齢が近いので話が合いますね。

私の場合、前職が自動車販売会社の営業だったため、コミュニケーションをとることに抵抗がありませんでした。福祉の仕事に就いたことのない人でも、人と話すことが好きならば大丈夫。定年後、家で過ごしている男性、ぜひ一緒に働きましょう。

【勤め先】コアエンジェル(有料老人ホーム)
【資格】ホームヘルパー2級(現介護職員初任者研修)、介護福祉士
【仕事内容】高齢者の介護全般